

J Aバンク三重における地域密着型金融の取組状況（平成 21 年度）

三重県信用農業協同組合連合会

J Aバンク三重（三重県下 J A、三重県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、J Aバンク三重中期戦略（平成 19～21 年度）に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成 21 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 （J Aバンク三重の農業メインバンク機能強化への取組み）

J Aバンク三重は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク三重は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 22 年 3 月末時点の J Aバンク三重の農業関係資金残高は、26,990 百万円となっています。

平成 22 年 3 月には家族経営協定を結ぶ農家女性等の新たな農業関連事業への参入・起業を応援するため、農業経営資金（農家女性等応援型）を創設しました。

【資金種別農業資金残高】（単位：百万円）

種 類	平成22年3月末現在
プロパー資金	15,528
農業制度資金	11,462
うち農業近代化資金	6,796
うちその他制度資金	4,666
合 計	26,990

（注1） プロパー資金とは、J Aおよび当会原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

（注2） 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJ Aおよび当会が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。

（注3） その他制度資金には、農業経営改善促進資金（スーパーS資金）や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位：百万円)

種 類	平成22年3月末現在
日本政策金融公庫資金	5,841
そ の 他	0
合 計	5,841

(注) JAバンク三重では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円)

営農類型	平成22年3月末現在
農業	17,750
うち穀作	2,692
うち野菜・園芸	3,394
うち果樹・樹園農業	1,032
うち工芸作物	1,844
うち養豚・肉牛・酪農	2,489
うち養鶏・鶏卵	632
うち養蚕	85
うちその他農業	5,582
農業関連団体等	9,240
合計	26,990

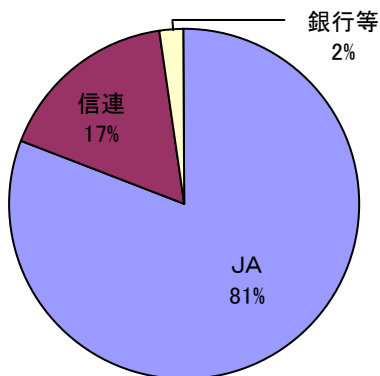
(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

(注3) 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

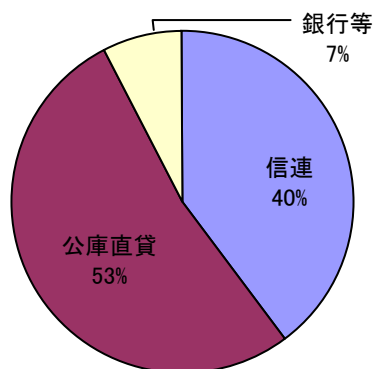
JAバンク三重は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【農業近代化資金 融資残高シェア】
(平成20年12月末時点)



出所：農林水産省 資料

【日本政策金融公庫資金 農業資金取扱残高シェア】
(平成22年3月末時点)



出所：日本政策金融公庫 農林水産事業
「業務統計年報」

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

J Aバンク三重では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者がお聞きした情報も含めてニーズを把握して、農業融資に関する提案活動を実施しています。また、県内15 J Aの本店には30人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

J A三重信連では、J Aにおける農業融資機能の強化に向けた取組みをサポート（農業者からの相談のバックアップ、J Aとの協調融資など）しています。

(3) J A内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJ Aをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催などを通じて、これまで以上にJ A内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例
J Aの担い手金融リーダーと営農・経済事業職員を対象に事業間連携を強化する取組みとして合同会議を開催しました。
全農三重県本部と連携して、J Aの営農・経済事業職員を対象に農業資金の知識習得を目的とした研修会に講師を派遣しました。

(4) 農商工連携の推進

J A三重信連は、三重県、百五銀行などと共に「みえのこだわり食品マッチング交流会2010」を共催し、J A三重信連の融資先企業を招くなどして、農業者と流通業者、外食業者および加工業者との間のビジネスマッチングをサポートしています。

【平成21年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	来場者数	内容
みえのこだわり食品マッチング交流会2010	平成22年2月3日	三重県 百五銀行 三重信連	80社	360名	生産者72社が商談225件を行い、商談成立41件、成立見込52件、不成立132件の結果となりました。

(5) 子供たちへの食農教育を支援

J Aバンク三重では、J Aバンクアグリサポート事業の一環として、子供たちに農業と食や金融との関わり等への理解を深めてもらうことを目的に、県内小学校への食農教材の寄贈やアグリスクールなど様々な教育活動を支援しています。

2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

J Aバンク三重は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク三重では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金を取り扱っています。

【平成 21 年度 新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

	平成 21 年度 実行件数	平成 21 年度 実行金額	平成 22 年 3 月末 残高
就農施設等資金	10	96	396

(2) 経営改善を必要とする農業者の支援

J Aバンク三重では、経営改善および支援を必要とする農業者に対して、その経営状況や経営改善計画に適した農業資金で対応するなど、関係機関と連携して金融面から農業経営改善を支援しています。

【平成 21 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】 (単位：先数)

	経営改善支援 取組先 α	α のうち 期末に債務 者区分がラン クアップした 先数 β	α のうち 期末に債務 者区分が変化 しなかった先 数 γ	α のうち 再生計画を 策定した先数 δ	ランク アップ 率 $= \beta / \alpha$	事業計 画策定 率 $= \delta / \alpha$	
正常先①	8	0	8	0	0.0%	0.0%	
要注意 先	うちその他要注意先②	23	6	17	0	26.1%	0.0%
	うち要管理先③	0	0	0	0	0.0%	0.0%
破綻懸念先④	18	0	18	0	0.0%	0.0%	
実質破綻先⑤	12	2	10	0	16.7%	0.0%	
破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%	
小計(②～⑥の計)		53	8	45	0	15.1%	0.0%
合計		61	8	53	0	13.1%	0.0%

(注)

- ・期首債務者および債務者区分は平成 21 年 4 月時点で整理しました。
- ・債務者数、経営改善支援取組先は、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
- ・ β には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者は α に含めていますが、 β に含めていません。

- ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については（仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても）期初の債務者区分に従って整理しています。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
- ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
- ・「再生計画を策定した先数」＝「農業再生委員会の再生計画策定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

(3) JAバンク三重講演会・セミナー等の開催

JA三重信連では融資先などの取引先や系統団体で構成する三重県信連浜木綿会を設立し、異業種間の情報交流を促進しています。

【三重県信連浜木綿会】

講演会名	参加企業・団体数	講演内容
浜木綿会総会 平成 21 年 6 月 5 日	45 社	講師 PEC 産業教育センター 所長 山田日登志 氏 題目 自分で考える社員のつくり方
情報交換会 平成 22 年 3 月 5 日	40 社	講師 (株)日本旅行西日本営業本部 チーフマネージャー平田進也 氏 題目 ほんまもんのサービスはこれや！ ～サービスという付加価値で価格競争をなくす～

3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク三重では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

JAバンク三重では、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。平成 21 年度の実績は以下のとおりです。

【平成 21 年度負債整理資金の貸出実績】 (単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 22 年 3 月末残高
農業負担軽減支援資金	0	0	94
農家負担軽減支援資金	0	0	29
畜産特別資金	6	553	692
日本政策金融公庫資金	0	0	321
合計	6	553	1,136

(注)

- ・農業負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

J Aバンク三重では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害などの被災者への支援

J Aバンク三重では、台風 18 号の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、三重県が創設した農業近代化資金（緊急復旧資金）や J Aプロパー資金（金利減免）を活用して対応しました。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
台風 18 号に対する農業近代化資金（緊急復旧資金）の対応	J A伊勢 J A 三重 南紀	台風 18 号で農業生産物等の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給による低利の資金で対応しました。	36	56
台風 18 号に対する農業プロパー資金の対応	J A 三重 南紀	速やかな融資対応のため農業プロパー資金を活用して、独自に 1%の金利減免を行いました。	8	14
合計			44	70

(2) 地域住民の農業に対する理解促進

J Aバンク三重は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布などに取組んでいます。

平成 21 年度において、教材「農業とわたしたちの暮らし」は J Aバンクを通じて、県下の小学校 144 校へ、7,250 セットが配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【 J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	実施時期	活動内容	参加人数
みえいなべ	5～11月 8月 12月	野菜づくり体験教室 小学生料理コンテスト 手作り豆腐づくり教室	小学生他 60人 小学生他 30人 小学生 30人
三重四日市	6～10月 5～10月 12～6月 8月	赤とんぼ ふるさと探し 親子ふれあい農業体験 親子ふれあい四季塾 子どもクッキング	親子 100人 親子 300人 親子 50人 小学生 40人

鈴鹿	4～12月 11月	野菜栽培体験スクール 食育活動	親子 100 人 小学生 15,500 人
津安芸	5・9月 5・9月 5・9・12月 5・9月 5・9月 5月 9～12月	黒田小学校稲作体験学習 豊津小学校稲作体験学習 安東小学校稲作体験学習 一身田小学校稲作体験学習 お米づくり教室 野菜づくり教室 カントリーエレベーター見学会	小学生 35 人 小学生 77 人 小学生 90 人 小学生 100 人 小学生他 60 人 小学生 35 人 小学生 1,000 人
三重中央	4～10月 7月 5～10月 10・11月	つちっこクラブ 親子で料理教室 農業体験学習 食エコフェスタ	小学生他 100 人 小学生他 40 人 小学生 300 人 小学生他 800 人
松阪	4～3月 5・7・8月	J A松阪あぐりスクール 松阪農業協同組合	親子 95 人 小学生 460 人
多気郡	8月	夏休み子供キャンプ交流会	小学生 35 人
伊勢	5～11月 9月	親子よくばり体験教室 刈取り体験教室	親子 50 組 小学生 50 人
鳥羽志摩	5～12月	J A鳥羽志摩あぐりスクール	親子 30 組
伊賀北部	6～11月 5～10月 9月 10月	農業体験学習田 生協交流会 小杉地区稲刈りイベント 食育新米イベント	中学生他 80 人 小学生他 50 人 児童他 60 人 児童他 100 人
伊賀南部	5・9・10月	稲作体験教室	小学生他 100 人
県中央会	2月 9月	親子体感食育セミナー 食育イベント	親子 100 組 親子 100 組

以 上